

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年5月12日(2016.5.12)

【公開番号】特開2014-192621(P2014-192621A)

【公開日】平成26年10月6日(2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-055

【出願番号】特願2013-65035(P2013-65035)

【国際特許分類】

H 04 N 1/00 (2006.01)

H 04 N 1/21 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/00 107Z

H 04 N 1/21

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月17日(2016.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

送信元情報と名称とを対応づけて登録したアドレス帳を記憶する記憶手段と、

画像データの格納先となるフォルダパスを構成する複数のフォルダ階層のうちの1つの

フォルダ階層のフォルダ名として前記名称を設定した設定規則を指定する指定手段と、

画像データと前記画像データの送信元情報とを受信する受信手段と、

前記受信手段で受信した前記画像データの送信元情報に対応づけられている、前記アドレス帳に登録されている名称を取得する取得手段と、

前記指定手段で指定された前記設定規則に基づいて、前記取得手段で取得した名称を前記複数のフォルダ階層のうちの1つのフォルダ名として含むフォルダパスを、当該受信した画像データの格納先として設定する設定手段と、

前記設定手段で設定したフォルダパスによって示されるフォルダに、前記受信手段で受信した前記画像データを格納する格納手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記受信手段で受信した前記画像データの送信元情報が前記アドレス帳に登録されていない場合に、前記設定手段は、デフォルト名称を用いたフォルダパスを当該画像データの格納先として設定することを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

送信元情報と名称とを対応づけて登録したアドレス帳を記憶する記憶手段と、

画像データの格納先となるフォルダパスを構成する複数のフォルダ階層それぞれのフォルダ名として、前記送信元情報と前記名称と受信日とのうちの少なくとも1つを用いるように設定規則を指定する指定手段と、

画像データと前記画像データの送信元情報とを受信する受信手段と、

前記指定手段で指定された前記設定規則に基づいて、前記受信手段で受信した画像データの格納先となるフォルダパスを設定する設定手段と、

前記設定手段で設定したフォルダパスによって示されるフォルダに、前記受信手段で受信した前記画像データを格納する格納手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 4】

前記指定手段は、前記フォルダパスを構成する複数のフォルダ階層それぞれのフォルダ名として、ブルダウンメニューから前記送信元情報と前記名称と前記受信日とのいずれかをユーザが選択可能な設定画面を表示し、当該表示した設定画面におけるユーザによる選択に基づいて、前記設定規則を指定することを特徴とする請求項3に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記指定手段は、前記フォルダパスを構成する複数のフォルダ階層として前記送信元情報と前記名称と前記受信日とを組み合わせた複数の候補を提示し、当該提示した複数の候補のいずれかをユーザが選択可能な設定画面を表示し、当該表示した設定画面におけるユーザによる選択に基づいて、前記設定規則を指定することを特徴とする請求項3に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記画像データのファイル名として、前記送信元情報と前記名称と受信日時との少なくともいずれかを含む組み合わせを設定するファイル名設定手段を更に有し、

前記格納手段は、前記ファイル名設定手段で設定された組み合わせに基づいて前記受信手段で受信した前記画像データに対してファイル名を付与して、前記設定手段で設定したフォルダパスによって示されるフォルダに格納することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記受信手段は、前記画像データをFAX受信し、

前記送信元情報は、FAX番号であることを特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記フォルダパスは、ネットワーク上のファイルサーバ内のフォルダパスであることを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

コンピュータを、請求項1乃至8のいずれか1項に記載の画像処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 10】

画像データの格納先となるフォルダパスを構成する複数のフォルダ階層のうちの1つのフォルダ階層のフォルダ名として、アドレス帳に登録されている名称を設定した設定規則を指定する指定工程と、

画像データと前記画像データの送信元情報とを受信する受信工程と、

前記受信工程で受信した前記画像データの送信元情報に対応付けてアドレス帳に登録されている名称を取得する取得工程と、

前記指定工程で指定された前記設定規則に基づいて、前記取得工程で取得した名称を前記複数のフォルダ階層のうちの1つのフォルダ名として含むフォルダパスを、当該受信した画像データの格納先として設定する設定工程と、

前記設定工程で設定したフォルダパスによって示されるフォルダに、前記受信工程で受信した前記画像データを格納する格納工程と、

を備えることを特徴とする画像処理方法。

【請求項 11】

画像データの格納先となるフォルダパスを構成する複数のフォルダ階層それぞれのフォルダ名として、送信元情報と名称と受信日とのうちの少なくとも1つを用いるように設定規則を指定する指定手段と、

画像データと前記画像データの送信元情報を受信する受信工程と、

前記指定手段で指定された前記設定規則に基づいて、前記受信工程で受信した画像データの格納先となるフォルダパスを設定する設定工程と、

前記設定工程で設定したフォルダパスによって示されるフォルダに、前記受信工程で受信した前記画像データを格納する格納工程と、
を備えることを特徴とする画像処理方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記の目的を達成するために本発明の画像処理装置は、送信元情報と名称とを対応づけて登録したアドレス帳を記憶する記憶手段と、画像データの格納先となるフォルダパスを構成する複数のフォルダ階層のうちの1つのフォルダ階層のフォルダ名として前記名称を設定した設定規則を指定する指定手段と、画像データと前記画像データの送信元情報とを受信する受信手段と、前記受信手段で受信した前記画像データの送信元情報に対応づけられている、前記アドレス帳に登録されている名称を取得する取得手段と、前記指定手段で指定された前記設定規則に基づいて、前記取得手段で取得した名称を前記複数のフォルダ階層のうちの1つのフォルダ名として含むフォルダパスを、当該受信した画像データの格納先として設定する設定手段と、前記設定手段で設定したフォルダパスによって示されるフォルダに、前記受信手段で受信した前記画像データを格納する格納手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記の目的を達成するために本発明の画像処理装置は、送信元情報と名称とを対応づけて登録したアドレス帳を記憶する記憶手段と、画像データの格納先となるフォルダパスを構成する複数のフォルダ階層それぞれのフォルダ名として、前記送信元情報と前記名称と受信日とのうちの少なくとも1つを用いるように設定規則を指定する指定手段と、画像データと前記画像データの送信元情報とを受信する受信手段と、前記指定手段で指定された前記設定規則に基づいて、前記受信手段で受信した画像データの格納先となるフォルダパスを設定する設定手段と、前記設定手段で設定したフォルダパスによって示されるフォルダに、前記受信手段で受信した前記画像データを格納する格納手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】